

## 会議報告書

会議名	令和7年度 第2回三郷市介護保険運営協議会
日 時	令和7年11月28日(金) 午後1時30分から午後2時40分
場 所	三郷市役所 健康福祉会館5階 会議室
出席者 (20名)	<p>【会 長】 谷口 聡</p> <p>【副会長】 今澤 正夫</p> <p>【委 員】 近藤 由紀子、渡部 みどり、佐久間 史晃、晝間 章、秋葉 明、齋藤 義治、須本 晃夫、小川 孔美 8名</p> <p>【事務局】 益子 敏幸(いきいき健康部長)</p> <p>原山 千恵(いきいき健康部理事兼副部長)</p> <p>中村 一之(介護保険課長)</p> <p>川原 健(介護保険課長補佐)</p> <p>溝口 明日香(介護保険課介護給付係長)</p> <p>山根 花枝(介護保険課介護給付係主査)</p> <p>中村 洋子(長寿いきがい課長)</p> <p>岡田 美奈子(長寿いきがい課副参事兼課長補佐兼地域包括係長)</p> <p>斉藤 嗣幸(長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長)</p> <p>秋本 亮(長寿いきがい課長寿いきがい係主任) 10名</p>
傍聴人	1名
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 部長あいさつ</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 第9期介護保険事業計画実績報告(令和6年度分)</p> <p>(2) 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗報告(令和6年度分)</p> <p>(3) 介護に関する入門的研修実施報告</p> <p>(4) その他</p> <p>5 事務連絡</p> <p>6 閉会</p>
資 料	<p>資料1 第9期介護保険事業計画実績報告</p> <p>資料2 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗報告</p> <p>資料3 令和7年度三郷市「介護に関する入門的研修」実施報告書</p> <p>「重層的支援を多職種連携から考えるシンポジウム」のパンフレット</p> <p>第10期介護保険事業計画の作成に向けたスケジュール</p>

## 【会議要旨】

### 1 開会

司会者（中村課長）が開会を宣言

### 2 会長あいさつ

谷口会長よりあいさつ

### 3 部長あいさつ

益子いきいき健康部長よりあいさつ

### 4 議事

谷口会長 議題（１）「第９期介護保険事業計画実績報告」について、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料１】に基づき説明。

谷口会長 ご意見、ご質問があればお願いいたします。

佐久間委員 訪問介護が難しい、かなり難易度が高いと聞いています。適正な数の訪問介護事業者が三郷市にあるのか、その事業者は問題なく経営・運営できているかについて確認させていただきたい。（訪問介護に関して）資料１を見ますと、「利用者数」や「受給率」は想定よりも低い結果になっておりますが、「１人１月あたり利用日数・回数」は増えていて、もしかすると訪問介護事業者がこういった部分で帳尻を合わせているのではないかと懸念しています。わかる範囲で教えていただきたい。

事務局 訪問介護の利用者数は令和５年度と比較すると増加していますが、計画値には届いていない状況です。その中で１人１月あたり利用日数・回数は増えているということは、頻繁に訪問介護利用が必要な介護度の重い方が増えているのではないかと推測しております。

佐久間委員 心配しているのは、訪問介護を必要としている方に届いている環境があるのかどうか、訪問介護事業者が人手不足や経営難を理由に、全国平均よりも一人当たりの利用が増えているのではないかとこのところを懸念して確認させていただいた。

事務局 （訪問介護については）全国的にも厳しい状況であると言われており、三郷市はどうなのか、経営実態の詳細まで把握しきれていない部分があります。訪問介護事業所の数だけでみれば、廃業だけでなく新規開設もありますので、今のところ動きはないと捉えています。全国平均についても、公表されている資料があるか確認してみます。

谷口会長 この件について、秋葉委員（ケアマネジャー）はどうお考えですか。

秋葉委員 必要としているサービスが届かなくなっているのではないかとこの点では、訪問入浴について市内に１事業所しか無くなったことが気になっています。そのため、近隣の金町や松戸市、越谷市などの事業所に依頼をしている実態があります。撤退し

	た訪問入浴事業所からは、サービス提供にヘルパー２名と看護師１名の３名体制が必要であること等から、採算をとることが難しいと聞いています。事業所が１箇所しかないということで、利用者の不利益になっていると感じます。
谷口会長	他にご意見やご質問がなければ、質疑を終了いたします。  (意見・質問なし)
谷口会長	議題（２）「第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗報告」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料２】に基づき説明。
秋葉委員	居宅介護支援事業所に対する運営指導で、基準減算など実際に指摘した事項について具体的に教えていただけますか。
事務局	給付実績のないケアプランの請求や、訪問看護など医療系のサービスを利用しているにも関わらず、根拠となる医師意見書や記録の整備が漏れていることなどが挙げられます。
近藤委員	難しい質問かもしれませんが、介護疲れによって、高齢の親を子が殺害する事件が起きています。介護の連携が図られていたり、医療機関にはソーシャルワーカーがいたりと相談場所ができているのにも関わらず、色々と理由はあると思いますが、どうしてこのような事件が起こるのでしょうか。三郷市で同様の事件が起きなければよいと思いますが、地域包括支援センターや医療や介護など各機関が一堂に会して、話し合いや連携する機会はあるのでしょうか。
事務局	地域包括支援センター運営協議会や医療・介護連携推進協議会、オレンジ会議などがありますが、共に全員が集まってという場はございません。しかしながら、各会議体などで重複して出席される関係者もいらっしゃるので、その中で案件の情報共有もしながら進めている現状です。
近藤委員	老々介護されている方などは、様々な介護サービスを使っていると思います。訪問介護のヘルパーさんに相談するなどして情報を得て、経済的に苦しいようであれば生活保護などの相談に繋がることもできると思うので、ぜひ情報共有を図っていただき、同様の事件が起きないようにしていただきたいです。
斉藤委員	先日、ピアラシティにあるイトーヨーカドーの介護用品売り場を通りかかった際に、パネルなどで介護サービスが分かりやすくまとまっていました。市が行っている啓発かどうかはわからないが、介護で不安を抱えている方や迷っている方に向けて、良い情報の流し方をしていると感じました。市民が日常の中で介護情報に触れられるような環境になると良いと思いますが、何か策はあるのでしょうか。
事務局	イトーヨーカドーの事例は、市で行ったものではないと思われますが、介護情報を広く周知していくことは重要であると考えております。現在も周知の取り組みは行っているが、これからも工夫して広めていきたいと考えておりますので、良いアイデアがあればご教授くださるとありがたいです。

齊藤委員	資料2の2枚目、「日常生活支援の充実と生活基盤の強化」について、地域のつながりが希薄化していく中で進めることが困難な事業だとは思いますが、今後とも力を入れて進めていってほしいです。資料2の1枚目、「介護予防・健康づくりの推進」についてですが、目標値を実績値が大きく上回っています。現場の方の地道な努力がこのような結果になっていると思います。これからも継続して取り組んでほしいです。
近藤委員	介護予防の実績報告の方法は、介護予防事業参加者が要介護から要支援になった、介護度が下がったなど実績の報告があるといいですね。
小川委員	「介護予防・健康づくりの推進」について、定員超過で介護予防教室に参加したくても参加できない事例があり、また、担い手不足との記載もあったかと思います。他市でも課題になっている点ではありますが、今後どのように検討を進めていくのかなどについて教えてもらいたいです。
事務局	(介護予防教室については)市内の公共施設を会場として行っていますが、施設のキャパシティの問題で、応募者全員が参加できておりません。自主グループ化し、育成したリーダーが公園などで自主的に運動などを行う仕組みづくりができればと考えています。
小川委員	今現在の担い手が疲れてしまうといった問題もあり、新しい担い手を作っていくことが必要だと思います。その他、三郷市でも「ちょこっとお手伝いガイド」などを作っているとの報告もありましたが、それを市民が知らないのでは意味がなくなってしまう。「作る」で終わるのではなく、「作ってみたけどどうかな」というのを地域で話し合いながら周知していくことも一助になるのではないかと思います。
谷口会長	他に何かご意見やご質問がなければ、質疑を終了いたします。  (意見・質問なし)  次に、議題(3)「介護に関する入門的研修実施報告」の説明をお願いします。
事務局	【資料3】に基づき説明。
佐久間委員	次の開催予定はいつになりますか。
事務局	来年度実施する予定ですが、開催日は未定です。
佐久間委員	すごく良い取り組みであると感じておりますが、懸念点をお伝えします。(参加者のうち)50%以上がアクティブ世代の参加、修了者が参加者のうち70%程度、おそらく2週間の中で4日間まとまって研修を行う方法はアクティブ世代にとっては参加しづらいのかなと思います。これが例えば、1週間に1回固定の曜日に実施すれば、申込者数や修了予定者数も増えるのではないのでしょうか。これが三郷市で行う人材発掘に繋がっていくのかなと思いました。
事務局	貴重なご意見ありがとうございます。昨年度の1回目が期間を空けて実施して、2回目の今回は凝縮して実施したという経緯があります。今後も、開催場所なども含めて、工夫してより良い方法を模索していきたいと思います。

小川委員 前回は期間を空けての実施とのことだが、参加者や修了者数はどうでしたか。

事務局 前回は初めての開催だったこともあり、30名程度の申し込みがあり修了者は19名でした。

小川委員 実際に介護現場の就労に繋がったのは何名ですか。

事務局 確認できる範囲で1名です。

谷口会長 他にご意見やご質問ありますか。なければ終了いたします。

(意見・質問なし)

次に、議題(4)「その他」の説明をお願いします。

事務局 配布資料を基に、第10期介護保険事業計画の作成のスケジュールを説明。

谷口会長 ご意見やご質問ありますか。

(意見・質問なし)

無いようですので、小川委員配布のパンフレットの説明をお願いします。

小川委員 「重層的支援を多職種連携から考えるシンポジウム」のパンフレット内容を説明。

谷口会長 ご意見やご質問ありますか。

(意見・質問なし)

無いようですので本日の議事は終了いたします。

## 5 事務連絡

事務局から今後の協議会開催予定日等について連絡。

## 6 閉会

今澤副会長よりあいさつ